

工事説明書

〔工事概要〕

工事名	常願寺川・朝日護岸その6工事
発注者	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所
施工者	株式会社 婦中興業
工期	平成28年 7月12日 より 平成28年 2月28日 まで
事業名	朝日地区急流河川対策事業

事業の概要及び整備効果

常願寺川は、源流の立山連峰から河口までの距離が約56kmの長さで、標高差約3000mを流れ下る日本有数の急流河川であり、洪水時には川の水が増水し勢いが大きくなり、さらに流れも乱れるため、堤防に影響を与える恐れがある。

当該箇所は、経年変化により河床が低くなってきている状況である。今後、洪水が発生した場合に堤防が危険な状態になることを防止するため、既設の護岸を利用する根継ぎ護岸工事を行い、洪水時の強大なエネルギーから堤防を保護し、治水安全を向上させる目的の事業である。

工事内容

当該工事は、練石張り護岸工及び根固め工（延長L=80m）を施工する工事です。

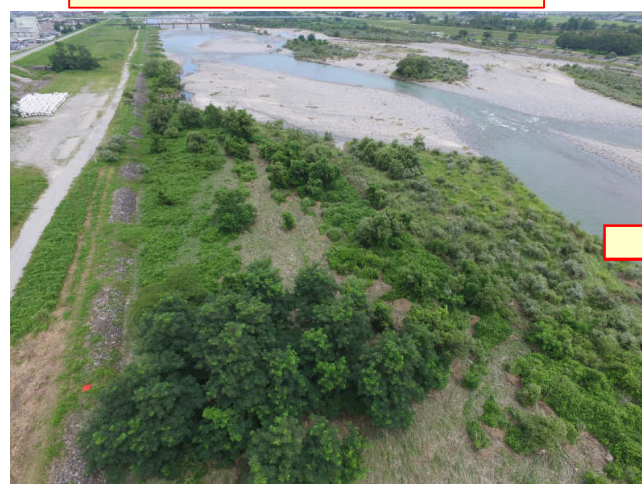
〔連絡先〕

発注者 国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所 三郷出張所 TEL：076-463-4753

施工業者 富山県富山市婦中町速星478 (株)婦中興業 TEL：076-466-2333
現場代理人（工事責任者） 岩本憲和 TEL：090-8261-1647

※現場でお気付きの点がございましたら、工事責任者 岩本の携帯へご連絡ください。

現在の常願寺川の状況



↑現在は護岸工が施工されていますが調査の結果、その深さが浅くなってきており、洪水時に洗掘される恐れがあることが判明しました。

大きな洪水が起こる前に、護岸工をより深くし、安全な堤防の構築を急ぐ必要があります。

護岸工事のイメージ（例）



↑この写真は護岸工事の例ですが、地下深くまで掘削し、根固ブロックを敷き詰めたり（根固工・水制工）、練石張り（護岸工）を行って、堤防が侵食されないように強化します。

この工事を行うためには仮設工として、仮締切（土堤）で囲んだり、大型のポンプを何台も設置して大量の水を川へ出す（水替工）などの作業が必要です。

右図「工法説明図」参照

■工事場所付近の航空写真



■護岸工事の工法説明図

